

感染症と人類の闘い

ポリオ根絶まであと一歩
いま、私たちにできることは

2025年10月23日 木

16:00～17:40 開場15:30

電気文化会館5階 「伏見駅」
徒歩2分



尾身茂氏

参加費無料

先着300名

伏見駅
徒歩2分

天然痘・ポリオ・SARS・新型ポリオウィルス・新型インフルエンザ・・・人類の歴史は感染症との闘いの歴史でもある。世界保健機関（WHO）勤務時代からさまざまな感染症対策に奔走し、多くの成果をあげてきた尾身茂氏から、人間が立ち向かってきた感染症への対処と根絶に向けて、特にあと一歩までできているポリオ根絶に向けてお話しいただきます。



主催：国際ロータリー第2760地区

所在地：〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15豊島ビル3階
サイト：www.rotary2760.org
電話番号：052-201-2760

後援：愛知県／名古屋市

参加申込フォーム



尾身茂氏プロフィール

公益財団法人結核予防会理事長,ロータリーポリオ根絶大使,元世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局長。

1990年よりWHO西太平洋地域事務局に勤務し、西太平洋地域において小児麻痺(ポリオ)の根絶対策や、SARSの制圧および各加盟国の地域医療対策や結核対策等で陣頭指揮。2012年より内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議の長を務める。

また社会貢献活動として、組織の利害やイデオロギーにとらわれず、将来の社会づくりに貢献すべくNPO法人「全世代」を設立した。

2020年2月、新型コロナウイルス感染症対策分科会会長を務め、コロナ対策に奔走した。

著書「1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録」

ポリオとは

ポリオ(急性灰白髄炎)とはウィルスによる感染症で、急性の麻痺が起こる病気。一般的には小児まひとも言われている。これまで天然痘が唯一の根絶した感染症であるが、ポリオも根絶まであと一歩のところまで来ている。日本では2000年に地域レベルのポリオ根絶が確認された。

ポリオ根絶に関わる主要な組織は、世界保健機関(WHO)、国際ロータリー、国際連合児童基金(UNICEF)、アメリカ疾病予防センター(CDC)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団などである。これらはワクチン接種キャンペーンの実施、ポリオウィルスの監視、根絶に向けた技術的・資金的支援をおこなっている。

申し込み方法

参加費は**無料**です。

申し込みフォームよりお申込みください。

※本フォームは**申し込みのみ**です。

参加が確定しましたらメールにてご連絡いたします

参加申込フォーム



会場アクセス

電気文化会館

〒460-0008 名古屋市中区栄2-5-5

名古屋地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」4番出口より東へ徒歩2分

主催：国際ロータリー第2760地区

所在地：〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15豊島ビル3階

サイト：www.rotary2760.org

電話番号：052-201-2760

後援：愛知県／名古屋市